学校番号	103

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選 現代文Ｂ 改訂版」（筑摩書房）						
副教材等	「現代文単語」（いいずな書店） 重要頻出漢字　リアルマスター3300」（尚文出版） センター試験国語過去問題　現代文　平成２６～３１年（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進路実現に向けて２年生段階までに習得した読解力（読解技術）を意識的に活用して、更に得点力（問題を解く力）の習得にも力を注ぐ。
・大学入学試験等に頻出のシチュエーション、出題のパターン、解答するうえでの約束事などを身に付けて、今まで学習したことを大学入学試験等で最大の結果を出すことにつなげる。
・読解においては選択式課題で考えることを極力少なくし、記述問題をできるだけ解くことに力を注ぐ。ただし、大学入学試験等の動向を見据え、選択式問題の解法も随時指導する。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
・評論文の要約を随時行うことで、読解力を高める。
・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。
・現代社会を理解する論点や視点を、評論文を読みながら整理、理解し、小論文にも対応できる力を養う
・小説や韻文を読解するための着眼点を具体的に指摘することで、小説や韻文を読むためのポイントを理解する力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。	必要な情報を用い，相手や目的，課題に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり，目的に応じて幅広く読んだりして，自分の考えを深め，発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め，知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、プリント等）	行動の観察（授業中の発問に対する発言等）	記述の確認及び分析（授業ワークシート、宿題、小テスト）	記述の確認及び分析(授業ワークシート、宿題) 指名音読 定期テスト	課題小テスト 宿題 定期テスト 発問評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	貨幣共同体	・文章を読んで批評することを通して，社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにする。	○	○	○	○	○	a:教材の内容に関心を抱き、現代社会とつなげて理解できている。 bc:上記の理解を他者と共有し、文章にまとまることができる。 d:2年次に学習した「である」「する」の考え方を用いて、難解な評論を読解できている。 e:貨幣と社会について考察を深めている。	abc: 行動の観察及び記述の点検 d,e:授業プリント、定期テスト
	空と風と星と詩	・文章を読んで，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わう。 ・時代背景と人生との関係、詩の役割について理解を深める。	○	○	○	○		a:詩と一人の詩人の人生に思いを馳せる。 bc:意見を交換し、文章にまとめることができている。 d:時代背景と人間、詩と人間のつながりについて理解できている。	abc: 行動の観察及び記述の点検 d,e:授業プリント、定期テスト
	近代の成立―遠近法	・文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味，用法を的確に理解する。	○	○	○	○	○	abc:意見を交換しながら、近代について関心を持ち、自分の理解をまとめる。 de:意味段落に分けてそれぞれの要旨をまとめ，遠近法と近代の関係を理解できている。現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	abc: 行動の観察及び記述の点検 d,e:授業プリント、定期テスト
2	物語るという欲望・物語としての自己	・文章を読んで，要旨などを的確にとらえ，その論理性を評価する。 ・二つの文章を比較しながら読むことを通して、語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえる	○	○	○	○	○	abc:意見を交換しながら、「物語」という概念について関心を持ち、自分の理解をまとめる。 d:「支配的な物語」とは何かを的確にとらえている。 e:「物語」が社会や私たち一人一人にいかに影響を与えるかについて理解できている。現代文キーワードを理解して内容を読み取ることができている。	c:要約シート d,e:授業ワークシート、定期テスト
	舞姫	・文章を読んで，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わう。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。	○			○	○	a:日本の「近代」の夜明け時代に自我に目覚めた知識人の苦悩を理解しようとしている。 d:回想手記の形式をふまえて，「豊太郎」の心情を，状況ごとに整理してまとめ「豊太郎」の人物像を考察している。 e:漢文的な文体・和文的な文体がそれぞれ作品にもたらす表現上の効果を理解している。	a,d,e:授業ワークシート、定期テスト

	小説とは何か	・文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにする。		○	○	○	○	b,c,d:論の展開をふまえ、内容を説明したり，筆者の主張の根拠をまとめたりしている。 d,e:「しかもこの効果が、一にかかって『言葉』に在る」とはどういう意味か理解している。「言葉」「小説」について理解している。	b:行動の観察 c,d,e:授業ワークシート、定期テスト
3	評論問題演習	・文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえる。 ・文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。			○	○	○	c，d:論の展開を正確に理解し、その上でさまざまな発問に答えられるようなスキルを磨こうとしている。 e:問題演習を通じて、現代社会において問題になっている諸問題を正しく理解している。	c,d,e:行動の観察及び記述の点検

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。